

令和4年度総合教育会議  
教職員の働き方改革について

# 前回の総合教育会議での意見概要

(H30.2.14)

## 意見の概要

### ○学校業務の見直し

- ・業務の精査

### ○働き方改革に向けての意識改革

- ・教職員の意識改革
- ・保護者の理解促進

### ○地域学校協働活動の推進

- ・地域人材(専門的な知識・技術等)の活用
- ・地域コーディネーターの有効活用

### ○中学校部活動の見直し

- ・指導者及び経費の確保

# 「高島市学校における働き方改革取組方針」

(H30.3.27策定)

## 取組の目標

- (1) 1ヶ月あたりの超過勤務時間が45時間を超える教職員の割合(年平均)
  - 小学校 40%以下
  - 中学校 50%以下
- (2) 年次有給休暇の1人あたりの年間平均取得日数  
14日以上

# 「高島市学校における働き方改革取組方針」

(H30.3.27策定)

## 小中学校

### 【勤務に関して】

- ①平日の退勤の目安時刻を19:00までとして業務に取り組む。
- ②週に1回以上、定時退勤日を設ける。
- ③1ヶ月あたりの時間外労働時間は最大でも80時間を超えない。
- ④長期休業期間中について、1週間以上の集中休暇期間を設定する。

# 「高島市学校における働き方改革取組方針」

(H30.3.27策定)

## 【部活動に関して】

- ①週2日以上(平日1日と土日のいずれか1日)を休養日に設定する。
- ②大会や練習試合のため、予定していた土日の休養日に活動する場合は、その前後の2週の期間内に休養日を設定する。
- ③活動時間は、平日2時間程度、週休日等4時間程度とする。
- ④朝練習は、行わない。

# 「高島市学校における働き方改革取組方針」

(H30.3.27策定)

## 教育委員会

- (1)教育委員会主催の会議や研修に関して検討・精選をする。
- (2)教育委員会主催の学校訪問の回数や訪問時間の削減する。
- (3)報告文書の精選・報告の簡略化について検討し、改善を図る。
- (4)臨時講師・会計年度任用職員(非常勤講師)を適正に配置する。
- (5)ストレスチェックを実施するとともに、長時間労働者への面接指導を行う。

# 教育委員会の具体的な取り組み

- 市教育委員会主催の学校訪問や会議、研修の精選
  - ・学校訪問の回数削減
  - ・研修の精選や廃止
  - ・オンラインによる会議や研修の実施
- 学校閉庁日の設定
  - ・8月のお盆期間に平日5日間
  - ・12月28日および1月4日を学校閉庁日
- ICT環境の整備
  - ・校務支援システムの導入（スズキ校務支援ソフト・S-Gate）
  - ・市内センターサーバー化
  - ・クラウドサーバーの導入（OneDrive）
- 留守番電話の設置

## 小中学校での特色ある取り組み

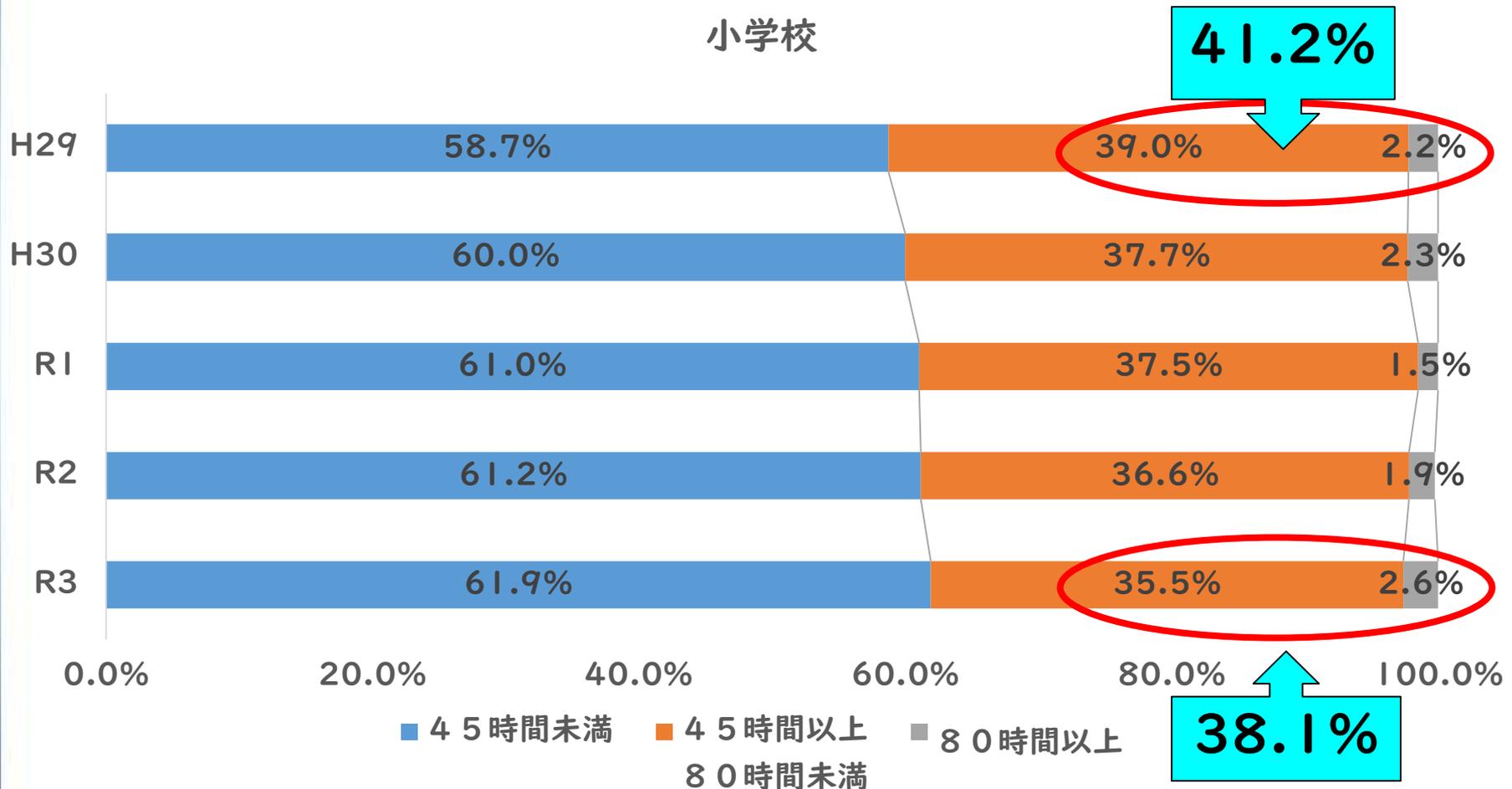
- ・会議や行事の精選
- ・ICTの積極的な活用
- ・教材や分掌業務のサーバー保存管理による共有化
- ・クラウドを利用した教材の共有
- ・アンケートのWeb化
- ・定時退勤日の設定
- ・目標退勤時刻の設定
- ・部活動の休養日を週3日
- ・地域学校協働活動の推進
- ・職員会議等で、「働き方改革」の必要性、職員の意識化
- ・超過勤務の続く教職員への改善指導

# 高島市教職員の勤務状況

目標40%

## ■ 時間外労働をした教職員の推移 (H29~R3まで)

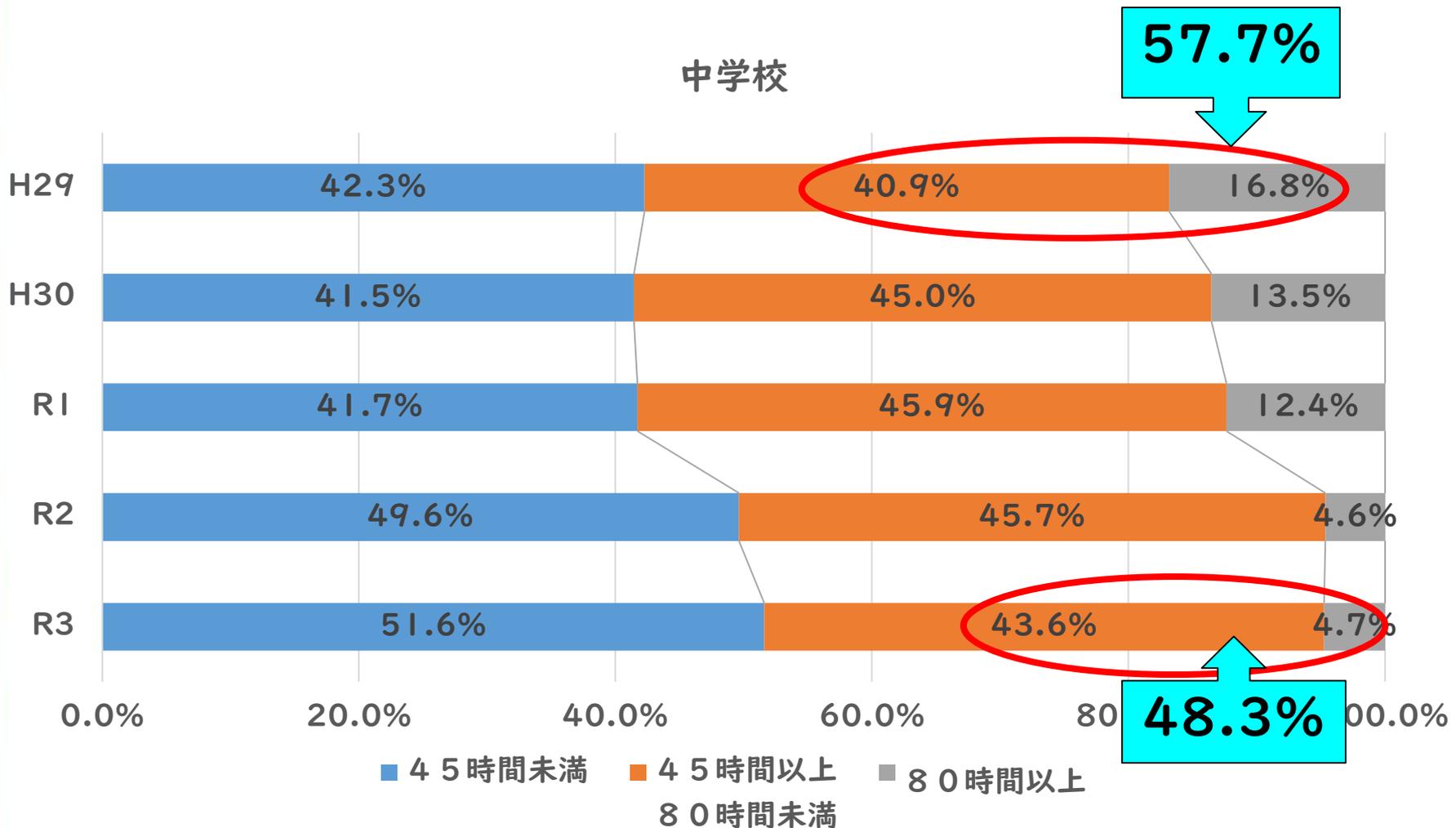
小学校



# 高島市教職員の勤務状況

目標50%

## ■ 時間外労働をした教職員の推移 (H29~R3まで)

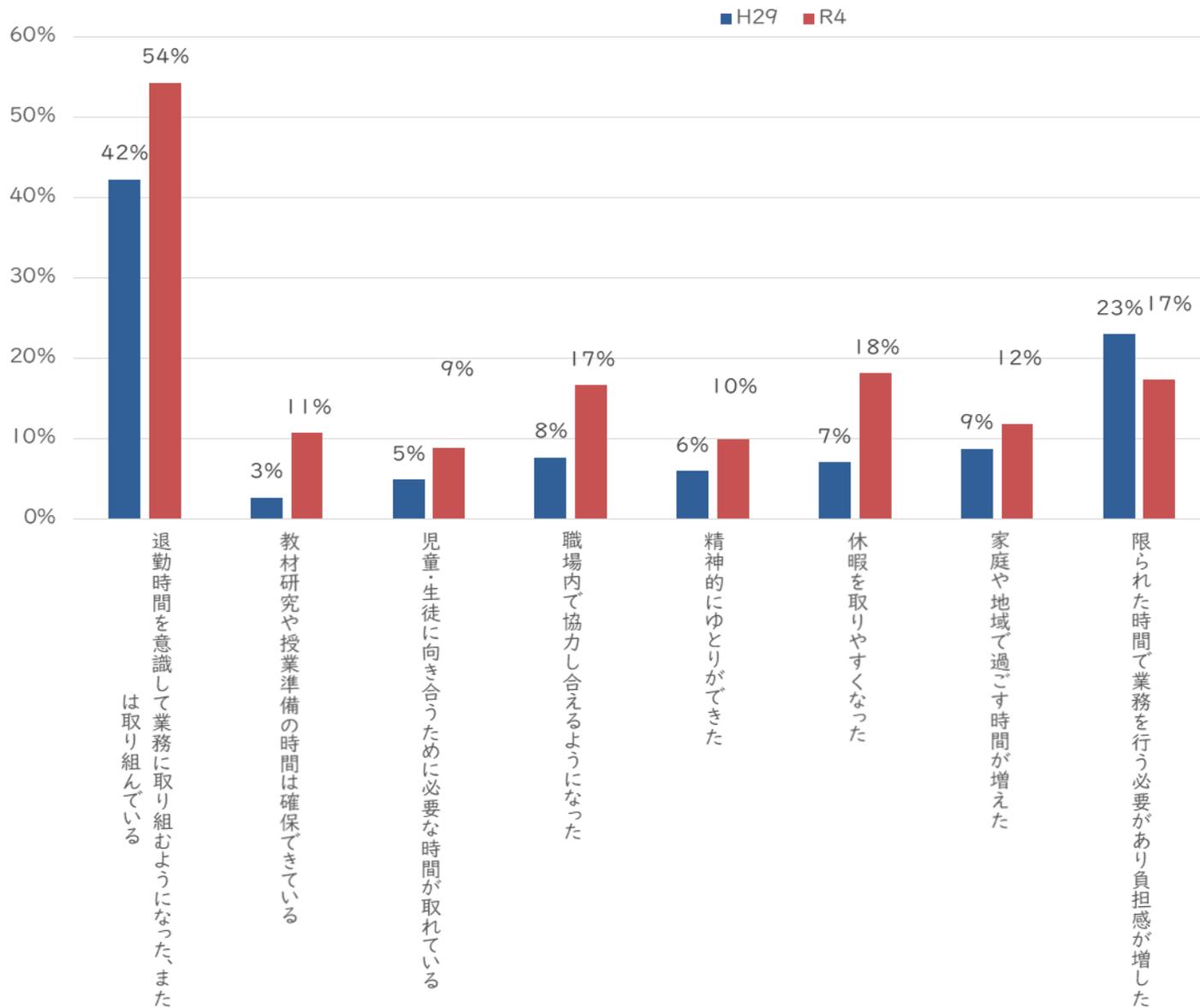


# 年次有給休暇の取得状況

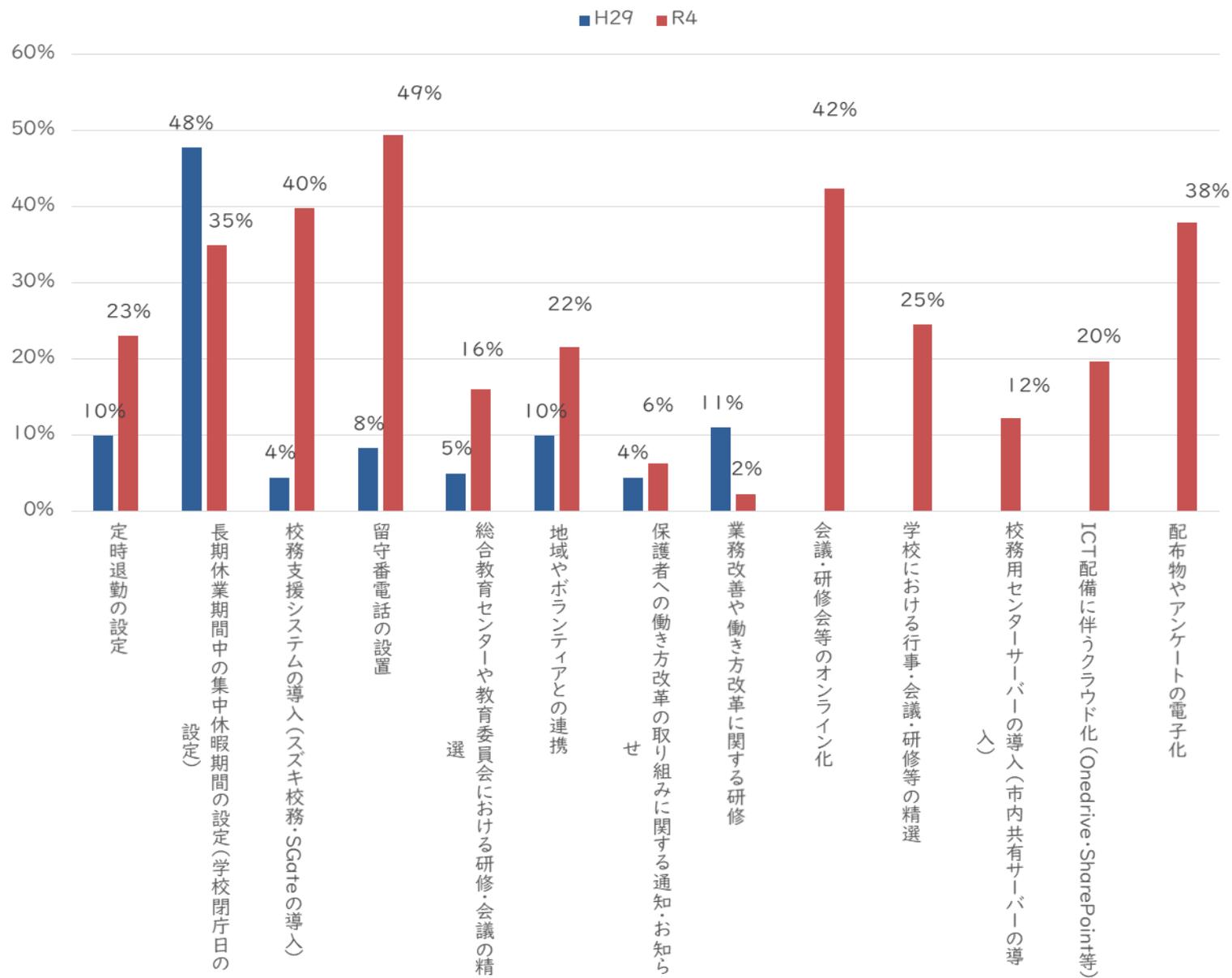
目標14日

H29年度	R3年度
11.5日	12.5日

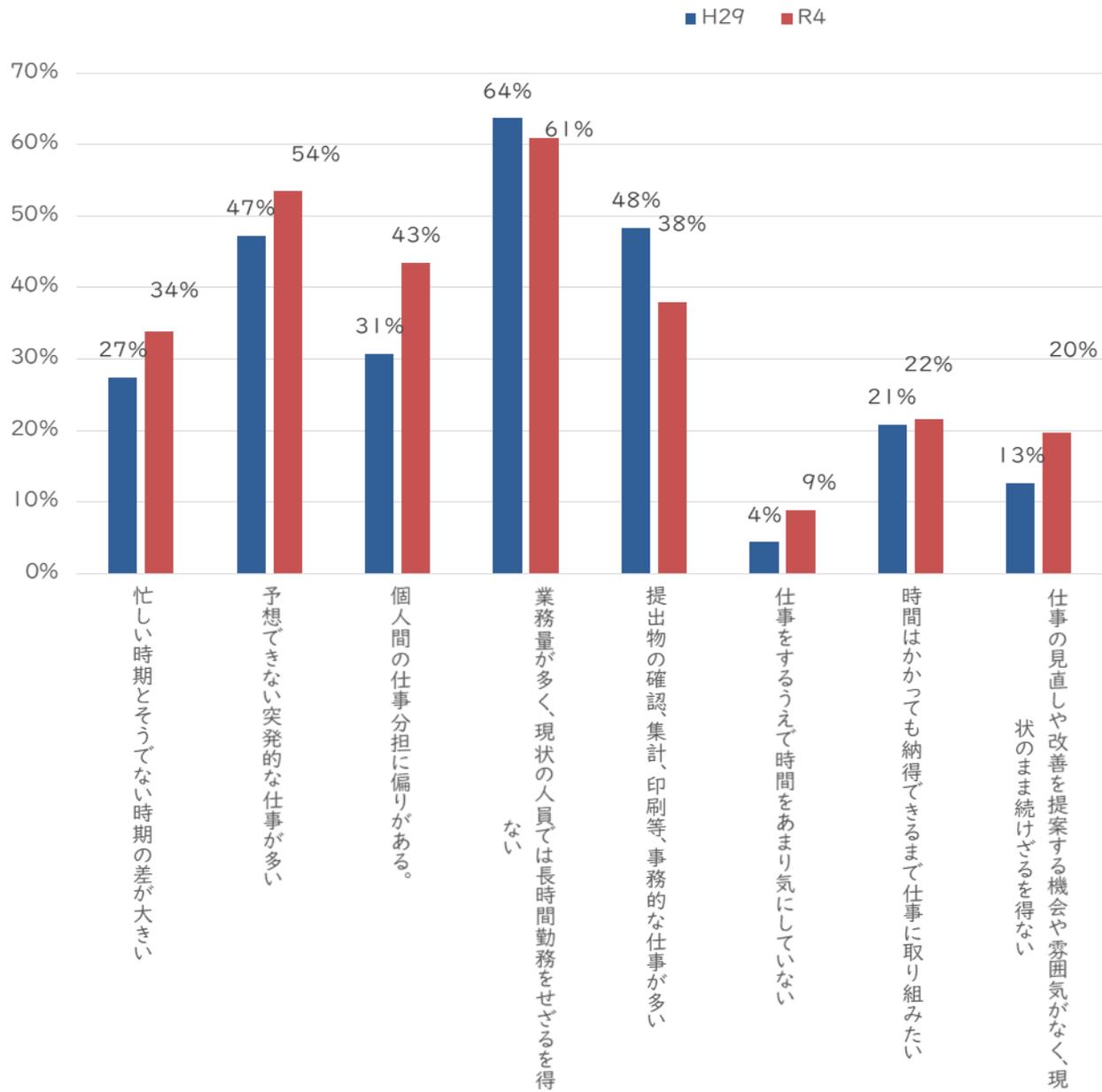
# 働き方改革や業務の改善に取り組む中で感じていること



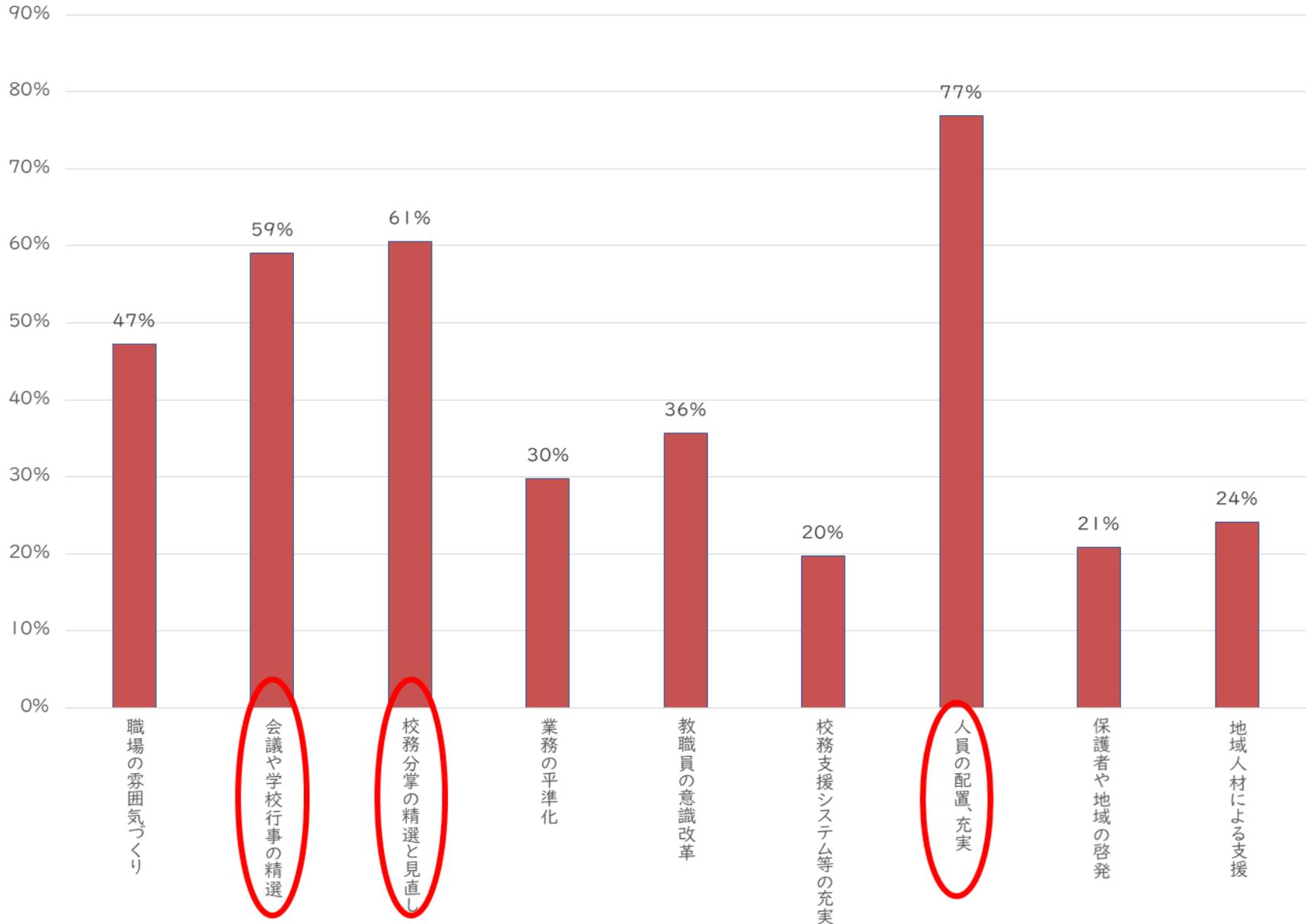
# 効果があったと思われる取り組み



# 超過勤務が増える理由と考えられるもの



# 今後、改善を進めるにあたって何が必要か



## ■教職員の働き方改革に関する 保護者や児童生徒、地域の声より

### <肯定的な声>

- 学校の困難な状況はよくわかる。教師がこれ以上疲れてもらうことはよくない。休日はしっかり休んでもらう必要がある。
- 保護者や地域にできることがあれば協力する。協力が得られれば、先生方の負担も減るだろう。できることを地域でも考えてみる。
- 前年度踏襲が多いPTA行事も、状況を見て精選や改善をするとよい。見直せることを考える。

## ■教職員の働き方改革に対する 保護者や児童生徒、地域の声より

### <否定的な意見>

- 生徒指導等の問題があれば、学校は夜のどんな時間でも子どものために対応すべき。
- それほど教育現場がたいへんであるという感じはもっていない。
- 部活動により培われる力があるので、朝や休日の練習も実施してほしい。
- 部活動の時間が短い。もっと増やして欲しい。

## ■働き方改革や業務改善における成果と課題

### ◎成果につながったと思われる取組

- ・校務支援システムの導入
- ・総合教育センターや教育委員会における研修や会議の精選
- ・留守番電話の設置

### ◎課題

- ・人員の配置、充実
- ・校務分掌の精選と見直し(業務の平準化)
- ・会議や学校行事の精選

### ◎今後の取組

- ・働き方改革に関する懇談会の開催
- ・国、県の動向を参考に、取組方針を見直す